

## 予告!! (WAT スペース 今夏 閉店へ!)

調布 WAT は 1991 年 2 月 湾岸戦争の時、市民グループの人たちが調布駅前噴水広場で、「ピースバザー」を行い、110 万円の売り上げを民間の飛行機に託してヨルダンの難民に届けたことをきっかけに設立されました。その後、目的を「アジアの女性と子どもたちのために」資金協力するボランティア団体として誰にでもできる活動を目指してきました。

今年は 35 年目に入り、今迄の長年の活動を振り返ってみますと、WAT にできることは小さいながら、継続できたことは大きい、と改めて感じています。

例えば、協力してきたことの内容などについて

- ① バングラデシュの女性が、農作業の後、読み書きや計算を真剣に学ぶ識字学級への協力金。文章が読め、計算ができ。だまされなくなりました。(13 年間)
- ② タイのチェンライの女性、人身売買にならないように、ミシンを習い、ヤオ族の刺繍の布でバッグを作り販売し自立。WAT も仕入れて販売。(12 年間)
- ③ フィリピンのマタニティクリニック。日本の助産師が自然出産の方法を取り入れ、死産を回避。貧しい地域に訪問診療して、お金のかかる病院にいけない人は、助かっていた。が、最近保険制度ができたので、お産も病院にかかれるようになり、フィリピンでの活動は終了、帰国。(23 年間)
- ④ バングラデシュの家事使用人 貧しい家庭の 12 才前後の子供が、都会の裕福な家庭に家事使用人として働かされていた。子どもらしい遊びや、勉強など、一日のなかで、そのような時間が設けられ、お料理や洋裁ができるようになり 20 年続けていると、店をかまえて、自立できるようになった。(20 年間)
- ⑤ ミャンマーの障害児 リハビリ施設に通うための交通費、医療費、常に 3 名が WAT の担当児、そし 18 才になるまで続行。大きくなるにつれて、親ごさんの仕事を手伝うようになっていった。(15, 6 年間)

大海の一滴にしかならないことばかりであり、一度見て知ってしまったことを、知らないことにはならないと思うことばかりでしたが、顔と顔が見える関係を大切にと思い、NPO のスタディツアーに参加して現地の状況を見ました。ただ、1991 年頃とその 10 年後の差は大きく変化していることに気付きました。10 年単位で、再訪すると、その間の変化ははっきりと分かりました。例えば、フィリピンに初めて行ったときは、物乞いに囲まれたり、子どもに野菜などを販売して働かせていた親は自分が学校行っていないため、子どもには教育が必要だとわかり熱心になっていました。アジアの女性と子どもたちへの協力金は、それぞれ多少ではありましたが、少しは役に立ってきたのではないかと、思い、ここらで、一区切りつけることにしました。長い間、ありがとうございました。

調布 WAT 代表 瓦林 紀子



調布 WAT 2025 年度 活動報告 2025/1~2025/12

- 1 月 冬物半額バーゲン
- 2 月 青色申告会へ確定申告提出  
WAT ニュース N0105、N0106、No107 を市立図書館に寄贈
- 3 月 リハビリ復帰の体験  
ボランティア保険加入  
会計監査
- 4 月 調布 WAT 定例総会
- 5 月 布田わくわくまつり実行委員会 第 1 回
- 6 月 わくわくまつり実行委員会 第 2 回  
調布 WAT の振替口座 解約  
気候変動のため「梅雨バーゲン」開催  
富田江里子さん、フィリピンでの活動終了し、日本に帰国
- 7 月 夏物半額バーゲン  
毎月の売上・提供品の宅急便と持ち込みの人数など調査
- 8 月 定例会 猛暑と夏季休暇のためなし
- 9 月 調布 WAT 臨時総会
- 10 月 わくわくまつりにバザーとして参加
- 11 月 高校 3 年生より団扇 50 本・英語ノート・絵本届く
- 12 月 二葉学園のクリスマス会 招待 2 名  
フィリピンへジャンボボックス 最終便



年間を通して：

- ◎ 毎月定例会 第一土曜日 於：福祉センターボランティア活動室
- ◎ 運営委員会（必要に応じて）
- ◎ 第 3 土曜日 店卸し（提供品の点検）於：WAT スペース内
- ◎ WAT ニュース発行 年 3 回
- ◎ 市立図書館へ WAT ニュース年間 3 回分を 5 階の「市民活動」に寄贈  
WAT ニュース創刊号からずっと最終号（N0 112 迄）保管の予定
- ◎ 「布田わくわくまつり」のための実行委員会 3 回出席  
当日は、子供向きの小物などをバザー形式で出店
- ◎ 年に 2 回（夏と冬）半額バーゲン開催
- ◎ 病後の方のためのリハビリ復帰方法を実施
- ◎ 送付先（当店で販売不可の物をそれぞれの所で活用してもらうために）
  - ・ かにた婦人の村（千葉県）
  - ・ 花見山を守る会（福島県）
  - ・ 動物いのちの会いわて（岩手県）





2025年会計報告<2025年1月1日~2025年12月31日>

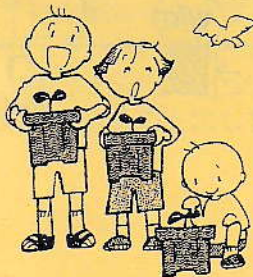
収入		支出	
項目	金額	項目	金額
スペース売上金	¥1,550,677	支援金 (詳細別枠)	¥258,100
カンパ	¥33,500	送料	¥43,260
受取利息	¥785	家賃	¥792,000
		水道光熱費	¥36,946
		消耗品費	¥54,978
		通信費	¥52,946
		保険料	¥32,380
		活動費	¥200,000
		会費	¥18,000
		支払手数料	¥1,610
		会議費	¥6,009
小計	¥1,584,962	小計	¥1,496,229
前年度からの繰越金	¥637,699	次年度へ繰越金	¥726,432
<b>総計</b>	<b>¥ 2,222,661</b>	<b>総計</b>	<b>¥2,222,661</b>

支援先詳細	金額	資産	金額
二葉学園	¥100,000	敷金	¥180,000
キートス	¥120,000		
調布市社協	¥38,100	<b>合計</b>	<b>¥180,000</b>
<b>合計</b>	<b>¥258,100</b>		

上記会計報告は、適正に処理・記録されていることを  
確認しました。

2026年3月11日

会計監査 鈴木伸子 





## 調布 WAT スペース

調布 WAT の協力先がそれぞれ終了に向かい、4月の WAT 定例総会で協議した結果、リサイクルショップ「WAT スペ」の活動も、そろそろ夏に、幕を下ろすことにいたしました。皆様には、長い間、提供品をお届けいただき、また購入していただき、皆様のお力がなければ、35年も続けてこられませんでした。本当に長い間、ありがとうございました。

夏物等のご提供品ありましたら、6月末まで、受け付けておりますので、よろしく願いいたします。

夏物の衣類 アクセサリー バッグ 帽子 タオル  
シーツ 日用雑貨



尚、勝手ですが、秋物・冬物は申し訳ありませんが、ご遠慮させていただきます。

〒182-0024 調布市布田 6-23-5

電話：042-449-9074

2024年2月から営業・定休日・営業時間が以下のように変更いたしました。

開店時間		12:00~16:00				
月	火	水	木	金	土	日・祝
/	○	○	○	○	/	/

○は営業日 /は定休日

代表：瓦林 紀子（かわらばやし のりこ）

メール：kawaranorik@gmail.com

場所：調布駅南口より徒歩8分。調布駅よりバスで「品川通り上布田」下車



調布駅南口

